

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和2年 7月 22日

公表: 令和2年 8月 8日

事業所名 多機能型事業所 ひまわりのもり

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			活動内容によってパーティションで仕切っているため、それぞれの活動を支援しやすい	
	2	職員の配置数は適切である	8			必要人数よりも多く職員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			床はフラット、段差もない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			評価をして改善を行ない、必ず会議で見直しを行なっている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			2020年4月に行い現状を高く評価して頂く意見が多く、より向上できるような努力を続けたい	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページ上、保護者への文書配布を行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6		行なっていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			参加できる研修にはほぼ全スタッフが参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		適切に実施できている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	4	標準化されたアセスメントツールは使用していないがアセスメントは行なっている	必要な研修を受け、利用者に合うようなアセスメントツールを使用できるようにしたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			毎月の会議でスタッフ全員で立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			現在コロナ禍で外での活動ができていないが、室内での活動の幅が広がるよう工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		平日は個別活動、休日・長期休暇はできるだけ集団活動ができるよう工夫している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		できている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		行事の時は役割分担や確認を行なっている。日常的にホワイトボードなどを活用し役割分担、注意点の確認を行なっている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		それぞれ職員が気付いた点を記録し、通信機器等を使用し迅速に情報共有ができています	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			個人記録とは別に支援目標が記載された用紙に記録をしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8			行なっている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			児童発達支援管理責任者と訪問支援員(施設長)が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			文書、電話等により確実にできている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		1		該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4				該当なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1		4		連携し研修を受けており今後も積極的に研修を受けていく予定である
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				5	実施していたが現在コロナ感染症の影響により実施できていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7				代表が定期の自立支援協議会の会合に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				日々の報告や課題の進捗状況等を連絡帳や送迎時に行ない、必要に応じ、電話や面談での対応もおこなっている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2			4	行なっていない
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				契約時に行なっている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				求めに応じ常に細やかに対応している。また関連機関とも連携し支援を行なっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				5	就労されている保護者が多く定期的会合の設定が難しい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				社内研修も行ない適切に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				毎月発行している
	35	個人情報に十分注意している	8				個人情報は鍵付書庫に保管している。またHP上の写真掲載など保護者に確認をとっている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				特性に応じた配慮をし、十分伝わるよう電話や直接会などし、行なっている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1			5	町内会に働きかけたが協力得られていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1			感染症対応マニュアルに関しては作成し保護者に周知できているが、緊急時、防犯に関しては見直し修正後保護者に配布する予定である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				予定していたがコロナ感染症のため実施できていない
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				年1回以上、社外、社内で実施できている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3				該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている					該当なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			定期的な会議で話し合い、再発防止に努めている	